

宇都宮大学

宇都宮大学農学部附属演習林トピック（令和6年度）

宇都宮大学農学部附属演習林

○公開森林実習を令和6年度より開講

宇都宮大学農学部附属演習林では、令和6年度から全国大学演習林協議会の公開森林実習を開講した。令和6年度は、9月18日～20日の2泊3日で実施し、協定校から9名、協定校外から3名、本学学生3名の合計15名の参加があった。

1日目は、開講式後に山本演習林長による「里山林が育む食を学ぶ」の講義を行い、船生演習林へ移動し、シイタケ栽培地、炭焼き窯、宇都宮市特産の大谷石を利用したピザ窯等を見学した。夕食には、ピザ窯を利用した森の恵みの食体験（地産食材を使ったピザづくり）を行った。2日目は、日光杉並木保護管理の現地見学後、日光演習林へ移動し、東北農林専門職大学大久保教授による「奥山林が育む環境を学ぶ」の講義を行った。そして、太郎山演習林内の植物相、治山施設、並びに戦場ヶ原湿原を見学した。3日目は、再度船生演習林へ戻り、大島演習林次長による「里山林が育む住を学ぶ」の講義後、持続可能な森林経営実習として高性能林業機械の操作体験、スギの間伐実習を行った。

参加者からは、全体的に大変満足であったと評価され、特に食に関しては高評価を受けた。しかし、6年度は初めての開講ということもあり、若干内容を詰め込みすぎ、時間的にタイトなスケジュールであったため、次年度以降の実施内容についての反省点があげられた。

令和7年度は、冬の里山・奥山に関連した内容で令和8年2月に実施予定である。



○日光演習林（戦場ヶ原演習林、太郎山演習林）の経営計画を策定

懸案であった日光演習林の経営計画について、令和6年3月に策定し、同年4月から実行を開始した。

○船生演習林内においてナラ枯れの発生及び対策実施

船生演習林6林班及び樹木園でナラ枯れが確認され、ナラ類113本について栃木県及び塩谷町からの補助金を受けて、立木くん蒸などの対策を行った。

○地元消防団による送水訓練に協力

船生演習林で山林火災を想定した塩谷町消防団による送水訓練が行われ、演習林は訓練場所及び関係者の駐車スペースを提供した。

この送水訓練は、水口から火元までを消防団所有のポンプ車約 10 台を送水ホースで連結して行われた。

